

ひたちなか市での

東海第二原発への

声 声

皆さんの **声・つばやき**
お寄せ下さい。
TEL/FAX:029-273-4775

津田地区 60代の男性

会員「原発なくせの運動のニュース(34号のこと)です。原発なくてもエネルギー足りていることが書いてあります。」
 男性「安倍は何故、いらぬ原発にこだわっているのだろうか？」
 会員「安倍は、原発共同体(原子カムラ)の言い分に乗っかっているから、やめる気になっていない。」
 男性「茨城は土地が沢山ある。自然エネルギーを思い切り進めればよいのにナ。貴方らの運動に賛成だ。がんばってくれ。」

東石川地区 60代の男性(電話)

男性「貴会ビラに、中学生が署名する写真が載っていた。」
 会員「署名できるんですか？と近寄ってきて、署名して行きました。」
 男性「この子らのために、我々にはすべきことがある。ビラまきを手伝うから、我が家に届けてくれ。」
 ※ 協力者が最近あちらこちらで出ています。嬉しいです

市内の男性

男性「何ですか。」
 私「福島原発事故でまだ放射線の高い所があるので知らせて歩いているんです。それと、近くの東海第二原発を廃炉にせよというニュースです。」
 男性「ボランティアニュースですか。」
 私「ええ、実行委員会ニュースです。」
 男性「初めて見るけど…」
 私「3~4ヶ月に一度、入れています。」
 男性「そう。私も JCO 臨界事故の時に〇〇の××工場で製品作りしていて被曝したんだ。とんでもない。工場長が判断ができなくて、そのまま仕事させられていた。これには笑い話まで付いてる。出来上がった製品を納入しに行ったら『受け入れ先にそんな物、持ってくるな』と突き返された。福島の除染も信用出来ない。職場のみんなもそう言ってる。小泉さんは、はっきり原発やめる様にとっている。偉い。原発の再稼働なんてとんでもない。がんばってください。」
 私 (汚染状況を説明後)
 「お邪魔しました。」

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？



写真左 4/29(水) 東海村「真崎古墳群第4号墳」北側斜面の杉の木の根元から1m離れた、高さ1mの値(この地表面では 0.83 μ Sv/h)。写真は南側から撮影。
写真右 4/30(木) ひたちなか市「ヤマダ電機テックランドシーサイドひたちなか店」信号南西角のケヤキ根元より西に約70cm離れた高さ1mで。



放射線量の測定法や測定結果について

- 1) 単位は μ Sv/h (マイクロシーベルト毎時)。
* 「2011年の原発事故」前は 0.05~0.02 μ Sv/h。
- 2) 測定器は HORIBA PA1000 Radi ; 測定者は正治。
- 3) 北風のあたる木の下は特に高いのですが、どの木立の根元も濃縮しているため、根本に座らない、また、その付近を幼子と散歩しないことです。